

平成 22 年度アクションプラン中間評価とアンケート評価との相関関係

「中間評価」結果一覧

区 分	結 果
「A」評価（目的・目標を達成）	1項目 1.5%
「B」評価（ほぼ計画どおり推進）	57項目 85.1%
「C」評価（取組みがやや遅れている）	8項目 11.9%
「D」評価（一層の取組みが必要）	1項目 1.5%

区 分		教育関係者評価				
		（「大変効果があった」、「ある程度効果があった」という回答の割合）				
		a 75%以上	b 50%以上	c 25%以上	d 25%未満	小 計
自 己 評 価	A 目的・目標を 達成	(1) 1	(2) -	(-) -	(-) -	(3) 1 < 1.5% >
	B ほぼ計画 どおり推進	(-) 33	(24) 18	(18) 6	(1) -	(45) 57 < 85.1% >
	C 取組みがやや 遅れている	(-) 2	(1) 4	(8) 1	(3) 1	(12) 8 < 11.9% >
	D 一層の取組み が必要	(-) -	(-) -	(-) 1	(3) -	(3) 1 < 1.5% >
	小 計	(1) 36 < 53.8% >	(27) 22 < 32.8% >	(26) 8 < 11.9% >	(7) 1 < 1.5% >	(63) 67

【教育関係者評価の概要】教育関係者評価は、平成22年度上半期（9月時点）の県教育委員会の取組みについて、関係機関・団体等から評価を頂き、その結果を次の取組みに繋げることを目的にアンケートを実施したものです。

<回答状況> 回答数/全体数	市町村教育委員会	16 / 19 団体	小学校	108 / 139 校
	中学校	36 / 60 校	高等学校	20 / 24 校
	特別支援学校	7 / 8 校	私立学校	6 / 9 校
	P T A 役員	10 / 17 人		

「目指すところ」に対する教育関係者評価が「c」及び「d」の一覧

1 生涯にわたって自ら学び、社会全体で子どもたちを育む体制づくり						
【目指すところ】	H22				H21実績	
	中間評価	関係評価	評価の理由		自己評価	関係評価
3) 活力ある地域社会をつくる生涯学習の環境整備と活動支援 高等教育機関との連携促進	B	c	・高等教育機関と公共図書館の所蔵資料の相互利用環境が整備されている。また、大学による講座・セミナー等は計画通りに実施できた		B	c

2 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育の推進						
【目指すところ】	H22				H21実績	
	中間評価	関係評価	評価の理由		自己評価	関係評価
1) 学力向上の推進 児童生徒へ理科・科学やものづくりの楽しさや本質を伝える。	C	c	・理科教育支援員は応募者が少なく、すべての希望校へ配置できなかった。 ・「鳥取県科学技術教育研究優秀賞」事業を実施		C	c
4) 社会の進展に対応できる教育の推進 鳥取県に愛着を持った人材の育成	B	c	・各小中学校で、生活している地域についての学習を実施。道徳の時間で郷土資料を扱った授業の実施。地域人材を活用した学校教育の推進。		C	d
4) 社会の進展に対応できる教育の推進 主体的に行動する人材の育成	B	c	・全国学力学習状況調査の主体的な行動に関わる項目の結果において、肯定的な回答率が増加。			

3 学校教育を支える教育環境の充実						
【目指すところ】	H22				H21実績	
	中間評価	関係評価	評価の理由		自己評価	関係評価
1) 児童・生徒減少期における学校の在り方 今後の高等学校の在り方	B	c	・県立高校改編計画の策定に向けて検討中。		C	d
2) 教育現場の創意工夫を活かした特色ある学校運営の推進 教職員の過重負担・多忙感	C	d	・取組を進めているが、成果として表れていない。勤務状況の把握のため、教職員勤務実態調査を実施予定。		C	d
2) 教育現場の創意工夫を活かした特色ある学校運営の推進 教職員の精神性疾患	B	c	・H22.9末 時点での休職者数 20名 (H21.9末 34名 14名減)		D	d

5 スポーツの振興						
【目指すところ】	H22				H21実績	
	中間評価	関係評価	評価の理由		自己評価	関係評価
1) 心豊かで活動的な地域スポーツ社会の構築 少年期のスポーツ活動の適正化	B	c	・「小学生のスポーツ活動に関するアンケート」結果をもとに鳥取県生涯スポーツ推進協議会や市町村教育委員会生涯スポーツ担当者会議等で課題について情報発信することが出来た。		D	d
1) 心豊かで活動的な地域スポーツ社会の構築 トップアスリートの育成(競技力の向上)	D	c	・明確な結果が数値で確認できないため、現時点での評価は難しいが、来年度に向けての新たな取組みは必須。		D	d